

メンバー：久池井 豊、七生
日時：2008.09.27-10.05
山域：ギリシャ・カリムノス島
山行形態：フリー
報告者：久池井 豊



テレンドス山

上記の日程で、ギリシャ・カリムノス島でフリーを楽しんできました。

<9/29>1日目

27日に日本を出て、28日の夕方にマスーリの studio (Panos Studio) に到着。その後は、二人とも死んだように眠る。朝7時00頃に起床して、まだ薄暗いため、9時に出発。昨日、購入したトポをたよりに、まずは、KASTELI エリアへ。

Yahurti me meli (4b) ゆ, Aaolaa (5a) な, Mikros Prigipas (6a) ゆな, Gefahrliche Brandung (6a) なゆ, Piccolo Diavolo (6a) ゆな, Ruheloser Pirat (6a+) なゆ

まずは、カリムノスのグレードを体感した。だいたい、6a ぐらいが楽しく登れるところがプラナン (タイ) と同じであった。ただ、プラナンと違うのは、支点および終了点がしっかりしているところでしょうか。ここは、10世紀のビサンチン帝国時代の城壁が残っており、その岩壁に腰掛けて、エーゲ海も眺めながらお昼を食べる。午後は混んできたので、空いているところを狙う。

Pillar of the sea (6a+) ゆな, Tsarouhis (6a) なゆ, Gyzis (5b) ゆな

Pillar of the sea は、ロケーションも良くてまさしく3星ルート。おすすめです。朝、放牧されていた山羊も寝床に戻ってきたようで、鈴の音が鳴り響き牧歌的な雰囲気に包まれる。うちらも studio に帰ることに。



KASTELI エリア

<9/30>2日目

朝起きたら、どんより曇り空。なんだか、冬の空みたい。モチベーションが上がらないが、朝食を済ませると元気が出てきて外に出る。今日のエリアはオデッセイア。道の途中、フランス人と話す。いきなり、6a くらいのレベルならオデッセイより、静かで景色の良い POET か DODONI を勧められた。なぜ、うちらが 6a くらいのレベルであることわかったのが不思議である。が、予定通りオデッセイへ。

Telemaco (5b) な, Nausicaa Nausicaa (6a+) なゆ, Ploly Retsina No Good (6a) ゆな, Mikrotera Kalamarakia (6b+) な, Penelope (6a) ゆ, On the verge (3c) なゆ

今日は体が重く、ここまで。七生は俺より 2 本多く登る。Femio (6a+), Nessuno (5c)

朝のフランス人が言っていたように、人も多くうるさくなってきた。調子もイマイチだし、今日はここまで。宿のテラスでエーゲ海を見ながらのんびりすることに。

<9/31>3日目

レスト。カリムノス島最大の町ポチアへバスで遊びに行く。



<10/1>4日目

今朝も眠たい目をこすりながら宿を出る。今日は、あのフランス人に勧められた POET へ。

Pindaros (5a) ゆな, Anacreonte (5c+) ゆな, Mustass (5c+) ゆな, Saxonia (6a) な, Dryads (6b) なゆ

Anacreonte は、トポには One oh the best routs on Kaly と書かれており、素晴らしいルートだった。ガバだけど結構緊張して、ヌンチャクかけるたびにテンションかけたくなる。Dryads は、調子のいい七生がトライして、なんとオンサイト。俺は TP で遊ばせてもらう。昼食後はちょいと移動して、

Metaxas (6a+) ゆ, Mao (ex Via Alp) (6a) ゆな, Kalispera (6a+) な

ここは、気持ちよくオンサイトできたので、気分のいいところで引き上げることに。その後は念願のビーチへ。憧れのエーゲ海で泳ぐ。

<10/2>5日目

今日は、カリムノス島滞在最終日。がんばって朝早く起きる。

いつも朝一番に顔を見てくれるテレンドスに挨拶して、今日も POET へ。

Quando tramonta il sol (6a) ゆな, Styx (6a+) なゆ, Oreads (6a+) ゆな

しんどいながらもオンサイトする。降りてくると、どつと疲れがでて汗をかく。最後のクールダウンのつもりで、ギリシャのお酒（アルコール度数が高い！）の名前を取ったルートに取り付く。



POET エリア

Ouzo (5c+) なゆ

グレードで甘く見てたら甘くはなく、悪酔いするルートだった。以上、合計 24 本（七生は 26 本）登り終えて、カリムノス島リゾートクライミング合宿を終えた。宿に戻って、シャワーを浴びてテラスで一息。しばし、幸せのひと時を堪能する。世話になった宿の親父と固い握手をし、町でも良く通ったミニスーパー・マーケットの兄さんと挨拶＆握手をしてタクシーに乗り込み空港へ。その後、アテネにて観光して日本に帰る。

<カリムノス情報>

1. アプローチ

以前は、アテネからコス島に飛行機（または船）で行って、そこからフェリーでカリムノス島（港町ボチア）に上陸するのが、一般的だったようです。最近、カリムノス島に空港が開設されたので、私たちは、アテネから飛行機に乗り換えてカリムノス島に行きました。アテネからの飛行時間は、約 1 時間。この時期は、毎日 1 便、アテネ カリムノス島の往復便があった。空港からは、クライミングエリアの中心地となるマスーアリという町へタクシーで行きました。

2. 宿泊

カリムノス島観光協会の HP が紹介している studio にメールして予約した。冷蔵庫、ミニキッチン、台所用品、シャワー・トイレ付で、1 人 10 ユーロ/泊。現地では、数軒の studio が目に付き、ホテルも何軒が見かけました。マスーアリは小さな町ですが、丘の上にある部屋を借りると、町への買出し、岩場へのアプローチがちょっと大変です。ただし、眺めは最高です！

3. 食事

マスーリには、数件のレストランがあるので、食事には困ることはないです。新鮮な魚介類を食べることもでき、とてもおいしかったです。美味しいすぎて、ちょっと食べ過ぎてしまうかもしれません。特に、山羊の乳から作られたフェタチーズ、羊の乳から作られたヨーグルトは絶品です。

4. 生活全般

生活必需品はミニスーパー・マーケットがあるので、そこで購入できます。飲み物だけでなく、ちょっとした野菜、果物やチーズ、ヨーグルト、ハムやパンも手に入る所以、ここで食材を購入して studio で自炊するのもいいかもしれませんね。

5. 交通

マスーリには、レンタルバイク屋さんがありますが、バスも通っています。カリムノス島最大の町ポチアには、バスが朝から夜まで結構な頻度で出ています。バスチケットをお土産屋さんで購入して、運転手さんに見せてから席に座ります。あと、流しのタクシーもたまに見かけました。



カリムノス島名物タコボール

6. クライミング

エリアも 1 つ 2 つではなく、ルート数もたくさんあります。そのため、すべてのエリアに足を運ぶのは至難の業かもしれません。エリア間の移動には原付バイクを使用しているクライマーもたくさんいました（レンタル屋さんもマスーリにある）。タイのプラナンより、エリア間の距離は長いと思われます。また、ルートの長さは平均で 22-26m くらいなので 60m ロープが良いかもしれません（ルートによっては 70m が必要）。トポ（約 300 ページで、写真が豊富で見てるだけでも楽しい）はマスーリのお土産屋さん、ミニスーパー・マーケットで手に入ります（35 ユーロ）。グレードはフレンチ表記。やさしいルートもたくさんあるので十分楽しめます。意外と、朝は涼しいので 9 時ぐらいから活動し始める。日中、快晴だと暑くなるが乾燥しているのでそんなに汗はかかない。また、日陰に入るとかなり涼しく、日（または、エリア）よっては海からの風が強いです。